言語聴覚士の挑戦

言葉を失った人の力になりたい!!

言語聴覚士ってご存知ですか？

言語聴覚士（ST）とは、脳卒中などによる言語障害や摂食・嚥下障害に苦しむ人たちにリハビリを施したり支援や指導を行ったりする仕事です。介護老人保健施設「サンクス米山」にも、その言語聴覚士が勤務しています。対象となるのは高齢者ばかりではありません。若くして脳梗塞などにかかり失語症や発音が正しくできない構音障害に悩む人もご利用されています。また、自宅でリハビリを行う訪問リハビリも実施しています。

知ってた!? 脳卒中

脳卒中とは、脳に血液が流れなくなることによって起こる病気全般を指します。脳梗塞、くも膜下出血なども脳卒中に含まれます。片方の手足や顔の麻痺、ろれつが回らない、言葉が出てこない、人の言うことがわからないなどの症状がみられます。

若年層の脳卒中は年々増えています。つまり、働き盛り世代の方へのリハビリの需要も高まっているのです。

脳卒中のリハビリは主に基本動作の身体機能の回復をサポートする理学療法士、作業活動を通じて身体と心の機能回復をサポートする作業療法士、そして言語や聴覚、音声、認知、発達、摂食・嚥下に関わる障害に対して支援していく言語聴覚士が担当します。

サンクス米山　言語聴覚士の女性たちの1日を取材しました

8:30 朝食介助

入所者さんの食事の介助もSTの仕事。嚥下障害のある人の様子をみて、どう介助したら安全に食べられるかの判断をします。

9:00 口腔ケア

お口の中を清潔に保つお手伝いをします。施設内には歯科衛生士もいるので、分担して対応しています。

10:00 言語機能のリハビリ

一人ひとりと個別のリハビリ。カードを使っての訓練や、家庭での様子を聞いたりします。

14:00 作業訓練

作業療法士さんと一緒に手先や身体を動かす訓練。ちぎり絵など、レクリエーション気分で。

15:00 訪問リハビリ

在宅の方のところへ出かけての指導です。身体的、精神的に、通うのは負担という方にはこちらが出かけていきます。

16:00 カンファレンス

利用者さんについての情報をほかのスタッフと共有します。

17:30 デスクワーク

カルテを書いて、終了。

やりがいを感じるのは？

小関さん

自分の病気をなかなか受け入れられない方や、心のうちを家族に打ち明けづらい方が一生懸命こちらに伝えようとしてくださって、伝わったときに見せてくれる笑顔にやりがいを感じます。

横田さん

リハビリをがんばって復職されたり、訓練をしながら新たな目標を見つけたりする方に、こちらも元気をもらっています。ご家庭でこんなことができた、と報告をいただくのも励みになります。

サンクス米山

言語聴覚士 小関 翔子さん

言語聴覚士 横田 綾子さん

言語訓練を受け社会復帰された方の実例です

復職し父親らしさを取り戻したAさん

一家の大黒柱である父として、一生懸命働いていたAさん。脳出血で失語症になり仕事も辞め、家に閉じこもりがちに…。「子どもを養っていく力もない…」と生きる希望を失っていたAさんでしたが、言語聴覚士による言語訓練や作業療法士によるリハビリを受け、次第に自信を取り戻していきました。その後、周りの協力もあり無事に元の職場に復帰。仕事ができる喜びと父親としての役割を取り戻し、「がんばります。家族のために」と希望を語ってくれました。

脳出血による重度の失語症になった主婦Bさん

主婦であり社交的でもあったBさんでしたが、受傷後は「ごめんね、何もできなくて」と悲観的な言葉が聞かれていました。自信を失っていたBさんでしたが、言語聴覚士による言語訓練を通して、少しずつ改善もみられ前向きな言葉も聞かれるようになっていきました。その後、サンクス米山内カフェの店員としても活躍。社会参加を通して自信を取り戻し、リハビリのサービスが終了。最後の日にはカフェ店員みんなで記念撮影。「今までありがとう」と感謝の思いを語ってくれました。

問合せ先
リハビリのプロ集団 みんなのリハビリセンター
〈理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・柔道整復師〉在籍
みんなでいきる minna-de-ikiru.org
社会福祉法人　みんなでいきる
介護老人保健施設 サンクス米山
上越市柿崎区上下浜219-5　tel.025-536-6622